




◎「黄色いつばをもつテングタケ科のきのこ」に似たきのこ

	コテングタケ(テングタケ属) (マツカサモドキ亜属タマゴテングタケ節)	クロタマゴテングタケ(テングタケ属) (マツカサモドキ亜属タマゴテングタケ節)	ヒメテングタケ(テングタケ属) (マツカサモドキ亜属キリントケ節)	シロコタマゴテングタケ(テングタケ属) (マツカサモドキ亜属タマゴテングタケ節)
発生	夏～秋，亜高山帯針葉樹林下	夏～秋 シイ，カシ，コナラなどの林下		
分布	西日本の低地のマツ林(唐津市虹ノ松原など)ではほとんど見られない。(長澤栄史先生コメント)		大村市狸ノ尾，野岳湖？ 諫早市上山公園	雲仙市諏訪の池
傘	表面湿時弱粘性で灰褐色～暗褐色で周辺淡い しばしば暗灰色の外被膜破片を付着	表面湿時粘性あり， <u>暗褐色灰色繊維状鱗片を密生（繊維状）</u> し，中央黒褐色で周辺淡い しばしば <u>かすり模様</u>	<u>黄色の平たい外被膜破片</u> を付着する	白色
柄	逆棍棒形で膨大した基部に <u>類白色厚膜の浅いつば</u> をつけ，末端は尖り中実 つばは膜質，灰～黒褐色で上面に細線 つばの上は白色，下は <u>灰褐色繊維状鱗片でだんだら模様</u>	上下同径で基部球根状となり <u>白色厚膜質袋状のつば</u> をつけ，中空 表面は傘より淡い <u>繊維状鱗片でだんだら模様</u>	逆棍棒形で膨大した基部に <u>丸い浅いつば</u> をつけ，つばの上には黄色い外被膜破片が付いている。 白～うすい灰色で平滑	つばは柄の塊茎部に癒着し，上端がやや遊離する。
つば	頂部に灰色膜質つば垂下	頂部に <u>灰色膜質</u> つば垂下	中央部に <u>灰色～白色膜質</u> つば垂下	淡黄色
ひだ	密で白色，小ひだやや切断形	離生，密で白色→灰白色	白色	
肉	白色で薄く無味で臭温和	白色で薄く，質もろくて無味無臭		
菌糸	クランプなし	クランプなし		
		 撮影場所：長崎県民の森(20110820)	 撮影場所：大村市狸ノ尾（20090718）	 撮影場所：雲仙・白雲の池（20101017）

引用図書：「北陸のきのこ図鑑」「山溪カラー名鑑・日本のきのこ」「山溪カラー名鑑・日本のきのこ(増補改訂新版)」「日本きのこ検索図版」「原色日本新菌類図鑑Ⅰ」